

三
平
群
町

議会だより

第 2 1 3 号
発行・編集

奈良県生駒郡平群町
平群町議会
議会だより編集委員会
議会事務局

電話 0745(45)0012
gikai@town.heguri.nara.jp

遊休農地を利用したまちおこし



「なると金時芋」でつくる
平群産「芋焼酎」

主な内容

第4回臨時会・第5回定例会

こんなことがきました…………… 2～4

平成18年度一般・特別会計決算審査特別委員会委員長報告…………… 5～6

一般質問 質問&答弁…………… 7～13

選挙管理委員会委員・同補充員決まる…………… 14

委員会活動状況

8月臨時会・9月定例会

こんなことが決まりました

平成19年第4回臨時会が8月22日開かれ、選挙管理委員及び同補充員の各4名が指名推選されました。

第5回定例会が9月7日、20日までの14日間の会期で開かれ、本会議初日に上程されました条例案件で町営住宅管理条例の一部を改正する条例、平成19年度一般会計・各特別会計補正予算案件等9議案を原案どおり可決しました。

次に平成18年度一般会計・各特別会計決算の認定については、審議の結果決算審査特別委員会を設置し付託されました。

9月18日の本会議では13名の議員による一般質問が行われました。

最終日には、初日に付託された決算審査特別委員長の報告を受け、報告どおり各決算は認定いたしました。

さらに議員提案の意見書3件のうち、2件が全会一致で可決されました。また、1件は賛成少数で否決されました。

第4回臨時会 議事結果

案 件		結 果
選 挙	○選挙管理委員の選挙について	指名推選
	○選挙管理委員補充員の選挙について	指名推選

第5回定例会 議事結果

案 件		結 果
条 例	○政治倫理の確立のための平群町長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例	原案可決（全会一致）
	○平群町営住宅管理条例の一部を改正する条例	〃
	○平群町地区計画区域内建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	〃
	○平群町下水道条例の一部を改正する条例	〃
	○平群町営住宅設置条例の一部を改正する条例	〃
	○平群町営住宅管理条例の一部を改正する条例	〃
予 算 ・ 決 算	○平成19年度平群町一般会計補正予算（第3号）	〃
	○平成19年度平群町下水道事業特別会計補正予算（第1号）	〃
	○平成19年度平群町介護保険特別会計補正予算（第1号）	〃
	○平成18年度平群町一般会計歳入歳出決算の認定	認定（全会一致）
	○平成18年度平群町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定	〃
	○平成18年度平群町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	〃

予算・決算	○平成18年度平群町老人保健特別会計歳入歳出決算の認定	認定（全会一致）
	○平成18年度平群町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	〃
	○平成18年度平群町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	〃
	○平成18年度平群町学校給食費特別会計歳入歳出決算の認定	〃
	○平成18年度平群町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	〃
	○平成18年度平群町奨学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定	〃
意見書	○割賦販売法の改正を求める意見書	原案可決（全会一致）
	○いじめ・不登校対策のための施策を求める意見書	〃
	○後期高齢者医療制度実施について意見書	否 決
同意	○固定資産評価員の選任に同意を求めることについて	同意（全会一致）
他	○斑鳩町公共下水道施設を本町住民の利用に供することについて	原案可決（全会一致）

条 例

●政治倫理の確立のための平群町長の資産等の公開に関する条例の一部改正

10月1日実施の「郵政民営化」で関係する法律が変更になるため、条文の「郵便貯金」の項目を削る等の字句を修正するものです。

●平群町営住宅管理条例の一部改正

入居者選考委員会委員に議会議員、学識経験を有するもの、町の職員という構成から町の職員を削除するものです。

●平群町地区計画区域内建築物の制限に関する条例の一部改正

「郵政民営化」で関係する法律が変更になるため、条文の「郵便局」を「郵便法の規定により行う郵便業務の用に供する施設」に変更するものです。

●平群町下水道条例の一部改正

郵政民営化に伴う変更。公共下水道の敷地等を占有する者への占用料の徴収の免除対象から「郵政事業」をはずすものです。

●平群町営住宅設置条例の一部改正

●平群町営住宅管理条例の一部改正

「教職員住宅に一般住民等が入居していることについて、根拠条例もなく現状のまま放置できないので、その是正を行うことと、同住宅と西宮の職員住宅を町営住宅に編入するための条例改正です。

補正予算

●平成19年度平群町一般会計補正予算（第3号）

歳出、歳入それぞれ2千751万2千円減額補正するものです。

歳入では、国からの交付金が885万1千円の減額、地方交付税が3千236万1千円の減額。町債が駅周辺整備事業債

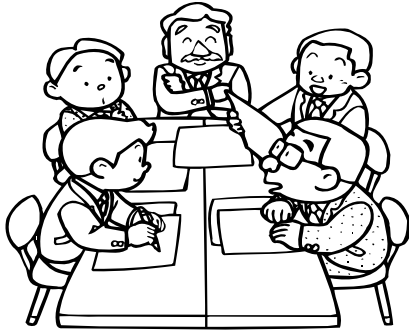
900万円増、臨時財政対策債470万円増など1千370万円の増額となっています。

一方、歳出は、年度途中の退職者5人の人件費や議員の報酬カットなど人件費で4千700万円、下水道会計への繰出が2千931万2千円、公債費531万円それぞれ減額。臨時職員の雇用や学校、町営住宅の補修の増額分を差し引いて、今回の補正で歳出は実質2千751万2千円の減額になりました。

この結果、歳入歳出予算総額は、61億2千787万8千円となります。

●平成19年度平群町下水道事業特別会計補正予算（第1号）

公共下水道事業費の起債充当率が45%から50%に引き上げられた5%分の1千810万円と公債費の資本平準化による840万円を新たに地方債に計上できることになったため、前年度不用額251万2千円と合わせた2千931万2千円、一



般会計繰入金の減額です。また、工事請負費の入札差金が5千670万円生じたので、この分を測量設計委託料4千980万円、補償金690万円で替えるものです。

この結果、歳入歳出予算総額は6億810万円となるものです。

●平成19年度平群町介護保険特別会計補正予算（第1号）

前年度繰越金3千107万3千円を、基金に654万4千円積立、介護給付費の精算2千452万9千円を償還するものです。

●固定資産評価員の選任に同意を求めることについて

前任者の退職に伴い、新たに岩津正嗣副町長を選任するものです。

●斑鳩町公共下水道施設を本町住民の利用に供することについて

竜田川3丁目の斑鳩町道に面した3軒を、斑鳩町の公共下水道に接続する協定の締結をするためのものです。

議員提出議案

●割賦販売法の改正を求める意見書

提出者 高幣 幸生
賛成者 岡 嘉道
植田 いずみ
奥田 幸男
窪 和子
繁田 智子
下中 一郎
原案可決（全会一致）

●いじめ・不登校対策のための施策を求める意見書

提出者 窪 和子
賛成者 戎井 政弘
土井 重尋
岡 嘉道
奥田 幸男
高幣 幸生
池田 研二
繁田 智子
原案可決（全会一致）

●後期高齢者医療制度実施について意見書

提出者 植田 いずみ
賛成者 山口 昌亮
否決

町の実質収支とは

18年度決算が認定されました。次ページの表で「実質収支額」とありますが、これは、18年度の収入と支出の実質的な差額を見るもので、形式収支歳入歳出差引額から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた額が実質収支額です。

議会のうごき

8月～10月

8月

3日・議員人権研修会

9日・農業委員会

10日・西和消防組合議会

21日・議会だより編集委員会

22日・第4回臨時会

議会運営委員会

24日・議会運営委員会

議会だより編集委員会

28日・全国町村議会シンポジウム

廃棄物減量等推進審議会

議会

29日・介護保険運営協議会

国保運営協議会

・県町村議会議長会県外視察研修

・土地開発公社例月出納検査

9月

9月

4日・人権対策協議会、人権交流センター運営審議会委員合同研修

5日・平群町都市計画マ

30日・例月出納検査

タープラン策定委員会

6日・農業委員会

7日・第5回定例会

本会議（初日）

10日・決算審査特別委員会

18日・本会議（一般質問）

19日・本会議（一般質問）

・経済建設委員会

20日・本会議（最終日）

25日・例月出納検査

27日・県市町村非常勤職員公務災害補償組合議会臨時会

10月

1日・議会だより編集委員会

10日・議会だより編集委員会

・農業委員会

16日・議会だより編集委員会

・平群町都市計画マスタープラン策定委員会

18日・県町村議会議長会役員県外視察研修

22日・郡町村議会議長会

25日・土地開発公社理事会

・全員協議会

決算審査特別委員会 委員長報告（要旨）



池田研二

（各会計の歳入歳出の状況は左表のとおり）

平成18年度一般会計・特別会計決算					
会 計 名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引	実質収支額	
一 般 会 計	56億2,822万円	59億3,361万円	3億539万円	3億1,147万円	
特 別 会 計					
住宅新築資金等貸付事業	9,130万円	1億1,115万円	1,985万円	1,984万円	
国民健康保険特別会計	19億5,647万円	20億2,834万円	7,188万円	7,188万円	
老人保健特別会計	16億5,680万円	16億9,432万円	3,752万円	3,752万円	
下水道事業	4億7,227万円	4億6,749万円	478万円	261万円	
農業集落排水事業	1億8,952万円	1億8,871万円	81万円	81万円	
学校給食費特別会計	6,882万円	6,851万円	32万円	32万円	
介護保険特別会計（保険事業勘定）	10億5,569万円	10億2,107万円	3,461万円	3,107万円	
介護保険特別会計（介護サービス）	462万円	213万円	249万円	249万円	
奨学資金貸付事業	11万円	11万円	0万円	0万円	

平成18年度平群町一般会計歳入歳出決算の認定

《議会費・総務費》

問 総務費の工事請負費973万円に対し多額の不用額が出ている。

答 入札により自家発電装置整備工事が504万円となったためLAN整備工事に469万円支出した。今後予算計上されていない場合の流用支出については、直近の議会に報告する。

問 企画費の広域市町村圏協議会負担金103万4千円について7町の議会で協議会のあり方、金の支出の問題等が議論されている。今の負担金を引き下げるといふ主張を7町の協議会でされるかどうか。

答 今年度の98万円について出来るだけ不執行という方向で主張したい。

問 自治振興費について

答 平成18年9月に自治

会育成交付金交付要綱を定めそれに基づいて交付金を出している。自治会運営費補助金は自治会活動全般の運営費の補助で実績報告並びに会計報告書を添付してもらい、審査した上で交付している。

《民生費》

問 シルバー人材センターの、18年度実績及び仕事内容や料金設定について

答 受託件数761件、就労実人数1千822人、主な就労内容は、草刈、剪定、ふすまの張替え、大工工事等である。料金設定は斑鳩町と比べて高くはなっていない。

問 社会福祉協議会運営費補助金で不用額が954万円出ている。

答 実質の不足分を補助しているためである。

問 福祉医療貸付金制度が十分に周知されていないのではないか。

答 貸付制度を申請された人はいなかった。周知の方法では新規や、更新時の対象者に案内文を送付や手渡ししており、窓口では随時説明しているがPRの方法を再検討してみたい。

問 児童福祉費の町外保育委託料が当初予算のほぼ半額になっている。

答 町外委託園児が27人から15人となったために減額となった。

《衛生費・労働費》

問 塵埃処理費の委託料について、予算で167万円計上されたクリーン点検業務委託料が不執行となっている理由は何か。

答 維持補修工事の中に含まれていて、クレインを解体する中でほとんどの部品が新しい部品に取り替えられたために法的な点検がクリアできた。清掃センターの炉の補修工事では3月に1号炉冷却室で耐火物の損傷があり急遽工事をする必要上750万円流用せざるを得なかった。報告事項の説明には今後改めたい。

問 し尿処理費について海洋投棄禁止以降1トンの処理委託料は4万円の高値になっている。財政的にも大きな負担になっている。今現在まだ方向性が全く見えてこないが遅いではないか。

答 4万円は高額ではあるが県下では最低限の額であると思われる。現在はプ

ロジェクトチームを作って検討しており、早い時期に結論を出していきたい。

《農林水産業費・商工費・土木費・消防費》

問 農業集落排水事業会計繰出金について、繰出金が大幅に減っている理由と今後の見込みについて。

答 繰出金の減額は入札差金によるものである。稼動経費や起債償還を使用料等だけで賄えないので繰出金は引き続き必要である。

問 道路新設改良費の維持補修工事5千389万円について、補修箇所は非常に多いがこの金額でやっていけるのか

答 舗装、改良拡幅、歩道整備については継続してやっていく必要がある。

問 駅周辺整備事業補助金の内訳について。

答 組合設立認可前業務費町補助6千800万円と事業費町補助金3千100万円である。

《教育費》

問 幼稚園就園奨励費補助金677万4千円について

答 対象者は公立幼稚園が7人、私立幼稚園92人で、市町村民税の課税によって

保育料が減免され国から3分の1の補助があり毎年対象者は増加傾向にある

〔問〕教育扶助費の入学支度金10万円について、高校入学の支度金給付制度を来年度から廃止しようというのには弱者切捨てではないか。

〔答〕いろいろな状況を考えた上で、あえてこのような方針でいかざるを得ないのではない。

〔災害復旧費・公債費・前年度繰上充用金・予備費〕

〔問〕予備費について、当初予算の9割以上を執行して流用されており、予算編成上どのように考えているか。

〔答〕18年度は緊急を要するものが特に多かった。今後は主幹級を執行管理者として位置づけ計画的な予算の執行を行いたい。

〔歳入全般〕

〔問〕町民税について、17年度と比較して約4千300万円増えているが、住民負担増や税源移譲に対して町長はどのように考えているか。

〔答〕戦後60年が経過した現在、少子高齢化、人口減少社会に突入し国全体の結

果として増税という形で現れているのではない。国においても福祉やあらゆる面で持続可能な制度にしていかなければならない。

〔問〕軽自動車税の未収金が421万7千円とかなり多いが収益向上を図るべきか。

〔答〕引き続き収納に努力したい。

〔討論〕広域協議会のさまざまな会計処理も明らかにし、決算審査の中で町長から今年度分は不執行の方向性を示されました。また、交付税の大幅な削減の中、この間皆さんの努力によって年度末赤字が3億1千100万円となった。当初の大変さから言えば大いに評価して18年度一般会計決算に賛成したいとの討論がありました。

全員異議無く認定することに決定いたしました。

平成18年度平群町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定

〔問〕滞納額は1億2千900万円、赤字も1千984万円と増えている。一時借り入れをしないとたな

くなると見ているが。

〔答〕平成24年度に単年度収支を黒字化して平成35年の最終年度には、特別会計の予算全体としては何とかトントンにもっていきけるであろうと予測している。

平成18年度平群町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定

〔問〕18年度は7千100万円の赤字になっている。大幅に医療費が増えたことをどのように分析しているか。

〔答〕検討しているがなかなか見えてこない。

〔問〕高額医療費は前年度の8千600万円から1億1千万円に増加している。平群町の国保税の一人あたりの負担額は9万2千769円で奈良県第2位。予防医療の啓蒙啓発に取り組み、医療費をどう抑制するか。

〔答〕4月から健康保険課になり、健康の部分と保険の部分で連携をとり予防に力を入れていける。

平成18年度平群町老人保健特別会計歳入歳出決算の認定

〔問〕来年度から後期高齢者医療が始まるが、この会

計はどのようなのか。

〔答〕老人保健特別会計については3年間継続して医療費の精算を行い、後期高齢者医療は別に特別会計を設ける。

平成18年度平群町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定

〔問〕委託料で、不用額が730万円出ている。

〔答〕調査委託料は入札差金であり、電算委託料は480万円の予算に対して95万8千円ほどのカスタマイズで済ませた。

平成18年度平群町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定

平成18年度平群町学校給食費特別会計歳入歳出決算の認定

平成18年度平群町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定

〔問〕コムの介護報酬の不正受給があったが本町ではあったのか。サービス利用者が居宅と施設で38件と7件の減になっているの

は何か。

〔答〕不正受給の対象者はない。要介護1が要支援に見直しされたためサービス利用者の居宅分で38人の減、施設については死亡等で7人減となった。

〔問〕普通徴収で17年度に比べて18年度の徴収率が半分に落ちている。

〔答〕低所得の方には若干保険料が安く、所得のある方はかなり額が増えているので介護保険制度に不満のある方等の滞納というのも見受けられる。

平成18年度平群町奨学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定

以上の各特別会計については、全員異議無く認定することに決定いたしました。

決算審査特別委員会

委員長 池田 研二
副委員長 土井 重尋

委員 岡 嘉道

森田 勝

山口 昌亮

奥田 幸男

窪 和子

9月定例会より 「議会だより」に一般質問を掲載します

町の皆さまのお声を

議会の一般質問で

要旨のみの掲載ですので、詳細は議員へお尋ねください。

掲載は一般質問の発言順です。

※次号より形式等について整合性を図ります。



質 問(1)

県道椿井、王寺線の
拡幅計画について



土井重尋

県道椿井、王寺線の
拡幅計画は、その後ど
のようになっているの
かと質問しました。

私は安全安心な地域
環境を確保する上から
も、一日も早い道路の
整備と地域住民への説
明をお願いする。

答 弁

平成19年度より詳細
な設計を実施する予定
であったが、三郷町の
方で地積の混乱した所
があり、調整中である。
なるべく早い時期に平
群町の方へも説明に上
がるよう県に要請す
る。



質 問(2)
し尿処理設備の
バイオマスメタン
発酵設備の検討に
ついて

バイオマスメタン発
酵施設は、下水や農業
集落排水の汚泥と家庭
の浄化槽の汚泥、し尿
など有機性の廃棄物や
生ゴミを集めて混合処
理するもので、処理さ
れた汚泥は乾燥させて
肥料として再生する。

答 弁

政府は、資源の再利用
を進める設備を平成22
年度までに全国300
カ所程度建設をしてい
く方針です。
平群町でも、処理施
設を持たない近隣の市
町村と共同で取組み、
一刻も早く検討して
みる価値があると思
いますが、町の見解
をお尋ねします。

町にとっても処理に
係る委託費用は大きな
負担になっている。こ
のような中、庁内関係
課長により専門部会を
立ち上げ、経済的、安
定的、継続的に処理す
る方法を検討中であ
る。議員お述べのバイ
オマスメタン発酵施設
につきましても、貴重
な提案として賜って
まいりたいと考えてい
ます。

質 問(1)

新財政健全化計画について



山口昌亮

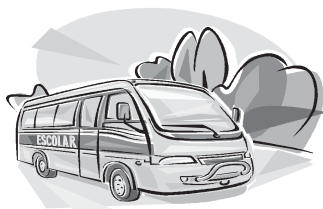
する施策がどのように活用され、廃止になればどのような影響が出るのか、検証結果を明らかにするよう質問しました。

担当課長は、現在実施の施策は喜ばれていると述べたものの、影響については検証していないと答弁。

私は、なんの検証もせずに、これらの事業を廃止するのはいかなものかときびしく批判しました。

私は、「新財政健全化計画」に盛り込まれた各種福祉施策の切り捨て、切り下げは、そのほとんどが高齢者と子育て支援にかかわるものであり、平群町の福祉をスタスタにすること。平群に住むメリットがなくなり、固定資産税の増税で逆にデメリットの方が大きくなること。若い世帯の定住に逆行し、人口の流出を助長、地域の活性化にマイナスになること。

そしてその結果、町税が減るといふ悪循環を招くと指摘したうえで、今回廃止しようとする

質 問(2)
コミュニティバスを
より便利なものに

私は、コミバスは利用者には大変喜ばれていることを紹介したうえで、「町内全域運行への拡大について前町長は、すぐには無理でも拡充の方向で努力したいと答弁していました。が、コミバスについて岩崎町長はどのような見解をお持ちでしょうか」と質問。

町長は、コミバス運行が本当にいいのかどうか難しい問題。効果をあげているのかどうかとのべ、拡充がやれるかは難しいと答えました。

質 問(1)

防災対策と自主防災組織について



下中一郎

防災対策として地域住民による自主防災組織の結成についてどのような取り組みをされるのかお尋ねします。

答 弁

大規模地震災害等に対し早急できめ細かな対応をするため、役場・警察・西和消防・町消防団とともに、地域住民や自主防災組織が重要な役割を果たすものと考えております。

結成への取り組みとして、先進自治会・西和消防・消防団・自警団等の意見も参考にすることで協力を求め、自

治連合会とも連携を図り協議の上、大字・自治会へ結成の呼びかけや働きかけを行い組織率の向上に向け取り組んでいきます。

質 問(2)
農業振興
観光農業の拠点
整備について

観光農業の拠点整備と、ファーマーズマーケットと観光交流ゾーンの整備計画についてお尋ねします。

答 弁

ファーマーズマーケットの施設整備については、現状の施設で今後も運営していくのは困難であると考えられ、施設整備は大きな課題であります。

今後の整備計画として、地元役員や関係団体で構成する検討会議で、施設面・運営面も含め、財政面も考慮し具体化に向けて協議を進めていきます。

又、現在策定中の都市計画マスタープランにおいて、機原地区での観光交流ゾーンの整備計画については、地域農業を活用した交流機能や、里山や農地を活用した参加体験学習等やレクリエーション機能の導入も含め検討を重ね、具体化に向け地元や関係機関とも協議を進めていきます。

質 問

タウンミーティング（住民説明会）について



森田 勝

質問

具体的に、どのような選択基準で取捨選択して町政に反映するのか。また、何時頃の各常任委員会に付託する予定か。

答弁

住民説明会の意見は聞き置きにはしない。少数意見にも耳を傾けるが、基本的には多数の意見を尊重する。集約したものを常任委員会に付託するかは未決定。

しかし、条例・規則等の改正が不可欠である事から、最終的には議会に諮り決定させて頂きたい。時期は12月

頃の予定。

質問

平群駅前再開発は「町費18億円、起債14億円」の組合方式で進めることになっているが、本町の財政負担が大きい。

説明会で事業の延期、休止、一時凍結とチグハグな答弁であったが、進める場合のガイドライン、住民への告知方法・時期の予定は。

答弁

財政状況を見た上で、慎重に対応する。具体的な事業内容、説明方法、時期は事業主体の組合と協議して、住民の合意形成を得た上で進める。

質問

平群町のトップとして、公平・不明を許さない町政運営を、どの

様に率先垂範されるのか、その決意は。また、町トップの町長の登庁・退庁時間は。

答弁

町行政のトップとして、誠心誠意、全霊をあげて、財政再建に取り組む考えは当然であるが、自分なりの価値観として、自負しており、あえて公言するのは差し控える。

町長は特別職で出退時間に拘束されないが、通常は午前8時20分に登庁、退庁は午後6時頃。



質 問

新福祉運送サービスの創設について



岡 嘉道

平群町は3人に1人が65歳以上という超高齢化社会に間もなく突入致します。

高齢化や傷病が原因で公共交通機関を利用することが困難となつたお年寄りに、「気軽に利用できる、安全で安価な移送サービス」を提供することが緊急の課題となつて居ります。

この高齢者向けの福祉運送ニーズに対応する町の現存制度は、

- (1) コミバスの運行
(2) 福祉タクシー

(3) 福祉有償運送

の3つがありますが、コミバスは運賃収入の10倍以上の運行経費が掛かる赤字事業であり、これ以上の拡充は財政的に無理、いずれの制度も十分な対応能力は期待できません。

このニーズに対する町の取組姿勢、試案があればお聞かせ下さい。

そこで、私は視点を換え、財政難の平群町政にだけ頼るのではなく、住民相互の助け合いによる新たな制度として、私の住む檜台住民の協力を得て、地域のコミュニティでマイカーに依るボランティア送迎を制度化する為の活動を始めました。そこで、このようなグループ活動に対して、有能な町職員をアドバイザーとして派遣、支

援して戴きたい。

答弁

町には、新たな福祉運送ニーズに対する試案は今のところありません。

アドバイザーの派遣は出来ませんが、出来る限り相談窓口の紹介などをさせていただき





町道（町営教員住宅から三里への東西道路）とバイパス沿いの三里、下垣内地区に銀行、ガソリンスタンド、レストラン等が開店するが、道路事情は全く考えていない。



奥田幸男

質 問 (1)

町道の拡幅と信号機の設置について

行者も多くなり、交通渋滞や交通事故の発生が考えられます。

この防止策として、町道を三里大井手路線まで拡幅することと、信号機の設置が必要となります。

以上の二点は早急に解決しなければなりません。

関係機関へ力強く働きかけて、是非、実現してほしい。

答 弁

今後の交渉状況を勘案し三里方向への道路拡幅とバイパスの信号機設置を関係機関と協議を進めていきたい。

質 問 (2)
消火栓の管理について

火災が発生した場合、19番で消防署に連絡するのは勿論ですが、初期消火

を行うのは地元住民ですが、消火栓の位置や方法が分らない住民がおられます。

以前は消火栓の位置を示す標識があったがいつの間にかなくなっています。

又、最近丸型の消火栓が設置されていますが、尚更、使用方法が分かりません。そこで自警団の方と相談したところ頑丈なバールで開けないと駄目らしいとのことでした。備え付けの工具で誰でも利用できるようにしてほしいし、日常の訓練も必要ではないでしょうか。

答 弁

消火栓の位置の標示がなくなっている所もある。

又、火災発生時の訓練も必要であるので今後いざという時に間に合うよう努力します。

質 問

近隣自治体との合併推進してはどうか



戎井政弘

タウンミーティングで2、3の方から発言があつたが、近隣自治体との合併を推進するべきではないか。

財政再建中の平群町から呼びかけるのは、タイミングとして困難なことではあるが、行財政改革の決め手は合併であるとの考えから、財政再建と同時並行で、近隣との話し合いを始めても早すぎることはない。

先の7町合併の際の経験から、実現には長い時間と、粘り強いエネルギーが不可欠と知った筈。特に現在合併に慎重な自治体への働

きかけ、個々のエゴを払脱させるには相当の理論武装が必要である。合併について、いまから取り組むことをどのようにお考えかを、伺います。



答 弁 町長

このことは私のかねてからの主張であり議員になった動機もここにあつた。

先の7町合併が、私達の懸命の運動にも拘わらず流れたのは残念であるが、あきらめた

訳ではない。

県は平成18年3月、平群、斑鳩、安堵3町の合併案を提示した。また生駒市との合併の選択肢もあるが、今すぐ行動を起こすとなると周りの状況は厳しいものがある。

今、最も求められるのは近隣市町との広域的行政を推進し、行政・住民の交流を深めていくことだと考える。合併の機運到来までの、機運高揚までの準備期間と考えたい。



質問(1) 頑張る地方応援プログラム・何を支援申請したか。プログラム策定に町民参加とPRを



高幣幸生

国は「地方の活力なくして、国の活力なし」と考え「頑張る地方応援プログラム」が平成19年度より立ち上げた。これは自らの手で魅力ある町を目指し、小さな事でも、やる気のある市町村には、地方交付税等の財政的な支援をする制度です。町はこの施策をどう受け止めたか。

一次では2件、2次申請は9月です。何を応募したか。町長は指示したか。各課に伝わっていないのでは。

答弁

総合政策課長 町としては国の「三位一体改革」等の影響

質問(2) 町の足の確保 NCバス北東部循環路線拡大を「頑張る地方応援プログラム」に申請しては

スの北東部地域のバスは、現行の若葉台・緑ヶ丘・東山路線は分断している。この

で交付税や国県補助金が減少し慢性的になっている。厳しい財政状況の健全化をはかり魅力と活力ある平群町を目指していくためにも、積極的に活用して参りたい。頑張っている町の姿のアピールは重要である。町民参加とPRも必要です。

一次申請は「平群駅周辺整備事業」「町行革大綱」を申請した。二次申請はしていない。来年度以降は申請したい。

町長は4月5日に担当課へ指示した。

路線を東山からバイパス・道の駅経由で吉新・若葉台・緑ヶ丘へとつなぐ大循環路線を考えては。



答弁

総務財政課長 応援プログラムは応募していない。詳細は調査研究したい。

町の交通はバイパス周辺の变化を見て、NCバスと利便性向上を考えて協議していく。

質問(1) 平群町の防災体制について



繁田智子

自然災害はいつ発生するかわかりませんが、いついかなる場合でも住民の生命と財産を守るのが地方自治体の使命です。

日頃から防災訓練を行っているのでしょうか。

本年4月から役場組織体制が変更されました。災害対策本部はどのように再編成され、住民への周知はどのようにされるのでしょうか。災害弱者といわれる高齢者や障がい者への対策はできているのでしょうか。

答弁

全職員を対象にした

防災訓練は必要であり、今後、実施して参りたい。

組織再編後の防災対策本部体制については、早期に新体制で災害及び事務分掌を作成し、広報やホームページで住民にお知らせしたい。

災害弱者に対しては、各課の連携とボランティアの活用方法が重要となると考えられる。支援マニュアル等も作成していく中で、ボランティアの募集や各障がい者別の対応を検討していきたい。

質問(2) 職員の研修について問い合わせや苦情に対するマニュアルは

顔の見えない電話でのやりとりで、うまく

意志疎通できないこともあるようです。電話での接客や対応のマニュアルを作成されているのでしょうか。苦情や問い合わせに対する研修は行われているのでしょうか。

答弁

平成16年度に民間会社の人事課より講師を招き、全職員対象に電話接客対応研修を行っている。また、17年には接客クレーム研修を、18年には職員自ら窓口対応接客研修を実施している。

説明責任を果たし、住民のみなさまの問い合わせにはスムーズに気持ちよく接客を行うため、計画的に研修を実施し職員のスキルアップを図っていききたい。



質 問(1) 町有施設及び保育園の耐震診断補強計画について



山田 仁樹

町長公約に「避難施設の耐震化に向け、予備調査を即時実施します」とあります。本年度予算には、耐震予備調査も計上されず、6月議会の予算審議の中で町長は「見積りを取ったところ、600万円と、現財政状況では厳しい。職員で新耐震に基づき以前以後で色分けし、必要であれば補正を組み対応したい。」との答弁でありましたが、予備調査の結果は？

答弁 町長

色分けの結果、施設10棟がアウトだと判明した。南保育園、今、危ないからすぐやりなさいと言うことですが小学校適正規模検討委員会とあわせて、財政健全化を見据え取り組みたい。



質 問(2) 財政見通しにおける町長発信について

町長は選挙後、1月30日付の「平群・あい未来」で、自身の言葉として「18年度は6億円余りの赤字、19年度は14億円にも達する恐れ、赤字再建団体転落必死の状況」と記され、多くの住民も驚きと危機を感じた様です。しかし、現状18年度は3億円余りの赤字、19年度も記された数字と大きく異なっています。説明責任として、間違っていたことを同じ方法で報告・釈明する義務があると思いますか？

又、年度末赤字見込み額は？

答弁 課長
現在、19年度末では6億円余りの赤字見込みとなっています。

答弁 町長
私は、この当時「あい未来」で報じたことは、決して間違った事を報じているとは思っていません。

質 問(1) 少子高齢社会に対応するコミュニティバス運行路線の拡充を



窪 和子

平群町では65歳以上の方が4千970人で4人に1人が高齢者です。

と考えますが。

答弁 町長

利用者の方に大変喜ばれ、「住民の愛情を運んでいるバス」とご指摘のとおりである。公平性を保つ為にルート拡大が必要だが大変難しい。

答弁 課長

運行路線の拡充については、路線の追加や新設は、困難であるが、既存の路線で対応可能な場合は、運行費や利便性も考慮し検討したい。全町の地域交通の改善を今後も調査研究したい。



今後、急速に進展する高齢社会を活力ある安心できるものにする為、急な坂道や交通手段のない地域に「生活の足」としてコミュニティバスを運行されています。多くの皆さんが大変便利になり、年間2万人以上(一日平均、南部40人、西山間45人)が利用されている状況をどう評価されますか？

又、西山間の運行空白時間を活用して、バイパスを走り、近大病院へのり入れや、鳴川・三里等の交通空白地へも路線拡充が必要

質 問(2) 住民の生命を守る防災対策について

いつ発生するかわからない大地震に備え、地域の防災力を高める為の町の対策は。

答弁 課長

住民参加型の防災訓練・講習会の実施を検討したい。避難所となる5つの学校施設の中、南小学校体育館以外は、耐震診断も行えてない。又、防災機能も不十分で今後、計画的な向上に取り組みたい。

答弁 町長

財政健全化しながら、国の補助金等も活用し、避難所の耐震計画を策定したい。

答弁 課長

10月からスタートする「緊急地震速報」は11月号広報で利用を周知し、本庁舎でも導入を研究したい。

質 問(1) 人事評価システムの確立について 「やる気」を引き立てる 評価制度・環境作りを!



池田研二

退職者増により仕事量が増え、財政難のために一定の給与カットもやむを得ない状況にあるなか、職員の「働きぶり」を公平で客観的に評価し、職員ひとり一人の「やる気」を引き立てる制度・環境作りが今こそ必要不可欠です。そこで、評価システム確立の進捗状況、実施時期についてお答えください。

答 弁

各課代表6人と職員組合から2人合計8人程度で検討委員会を立ち上げ、今年度下半期に「考課制度」として

まとめる。
20年度から試験運用を行いたい。

質 問

実績評価や能力評価を勤勉手当や昇級へ反映できる評価システムか?

答 弁

職員から信頼される制度の確立が必要で、目標達成度によって職員能力のレベルアップを目指すもので、評価を給与や昇級に反映するものではない。

再質問

信頼される制度は大前提であり、評価制度が出来たのに給与や昇級に反映しないのでは何のための制度か分からない。
まずは勤勉手当に反映すべき。



現状の実績について今後の新たな展開の必要性について以上の2項目を質問いたしました。

質 問(2) ファーマーズ マーケットの あり方について

再答弁

勤勉手当が良いかどうか、さらに検討して試行期間が経過した後に、反映出来るようにしたい。

質 問

児童教育資金支給事業廃止について



植田いずみ

現在母子家庭の経済状況は大変厳しく、平均所得は年間233万円(児童扶養手当等を含む)で全世帯平均の4割程度で、生活が苦しいという人は8割にも上っています。

この間、母子家庭の命綱である児童扶養手当の所得制限の引き下げ、来年度からは受給が五年を過ぎれば最大で半減されようとしています。

また、国による自立支援の相談や講習会で就業できたのは10%未満など殆んど成果が挙がっていません。完全失業率も7%と高く深刻な実態で町内にお住まいの母子家庭のお母さんは2人の子どもを抱え、時給(820円)のパート収入は1ヶ月(約12万円)です。



答 弁

調査はおこなっていません。

生活に困窮している家庭には、給食費や学用品などの助成をおこなっています。(国の就学援助制度等) 学童保育料の免除などおこなっているもので、児童教育資金の制度は廃止させていただきたい。

その他の質問

- ・学童保育料の引き上げについて
- ・リサイクル館の運営について

第4回臨時会(8月22日)で決まる

選挙管理委員

氏 名	住 所
月田 實	北信貴ヶ丘2丁目5番7号
井田 和夫	信貴畑1830番地
城垣 弘	椿井102番地
西山 正清	櫛原528番地

選挙管理委員補充員

順位	氏 名	住 所
1	安田朝四郎	梨本742番地の13
2	井岡 義照	櫛原681番地
3	後藤 節子	竜田川3丁目5番1号
4	白井 忍	福貴畑546番地

委員会活動状況

議会運営委員会

8月24日

案件・第5回定例会の運営について

下水道特別委員会

9月3日

案件・公共下水道における平群町、斑鳩町、
三郷町相互の区域外流入について

経済建設委員会

9月19日

案件・教職員住宅の管理等に関する件について

決算審査特別委員会

9月10日

案件・平成19年第5回定例会付託議案について
平成18年度平群町一般会計・特別会計決算9
件の認定について
(委員長報告参照)

議会だより編集委員会

10月1日、10日、16日

案件・議会だより第213号
(11月1日発行)
の編集について



▽編集後記△

今秋は「まちおこし」イメージアップ作戦です。本号の「議会だより」表紙をご覧いただけましたか。遊休農地対策事業の一環で地元農家が参加しサツマイモ「なると金時芋」の収穫。その傑作が「里の恵(さとのめぐみ)」芋焼酎です。

一方、議会は「読みやすい・わかりやすい・議会だより」の改革です。今議会、一般質問に13議員が登壇。「皆様のお声を」と町政に質問。今号から「議会だより」に一般質問を掲載しました。

初めてで、編集委員はあれもこれも気持ちが先立ち難渋の編集でした。未熟ですが一同さならなる改善を目指します。皆様のお声を。

高幣 記

議会だより編集委員会

委員長	高幣 幸生
副委員長	岡 嘉道
委員	植田 嘉道
委員	奥田 幸男
委員	窪田 和子
委員	繁田 智子
委員	下中 一郎